

「苜住」海外渡航支援のご案内

2008年7月－12月渡航分の申請は2008年4月末日〆切です

2009年1月－6月渡航分も4月末日までに申請できます#

2009年1月－6月渡航分の申請締切は2008年10月末日ですが、
2008年4月末日までに申請すれば、半年早く審査結果が出て
採用の場合は早く助成を受けることができます。

根研究会若手会員（40歳以下）に対する海外渡航費等支援

（日本語名称：根研究会「苜住」海外渡航支援）

（英語名称：JSRR (Karizumi) Young Researcher Travel Award）

根研究会では、若手会員の国際的な活躍を支援するため、海外で開催される学会等において研究成果を公表するため、あるいは、海外での研究・調査のための渡航経費の一部を支援いたします。本支援は、苜住会員による寄付金の一部をより有効に活用するための一環として実施するものです。奮ってご応募ください。

支援目的、支援対象者および支援額

根研究会所属の若手会員（申請時の年齢が40歳以下）の国際的な活躍を支援するため、海外の学会等に参加して根に関する研究成果を公表するため、あるいは、海外での研究・調査のための渡航経費の一部として、毎年50万円を限度として支援します。支援する額は一人当たり5－20万円とします。

旅費の一部を申請するとか、参加登録料の分を申請するという利用の仕方でも結構です。

申し込み先

根研究会事務局（〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学 大学院農学生命科学研究科 栽培学研究室 阿部淳気付）ですが、電子メールにMS-Word またはPDFのファイルを添付し neken2008@jsrr.jp にお送り頂いても結構です。

数日のうちに受け取りの通知をします。通知が来ない場合は、事務局にご確認下さい#

審査と決定通知

会長、副会長で協議して支援の可否と支援の額を決定し、締切月の翌月末までに申請者に通知します。

なお、採用人数と支援額は、前期・後期のバランスや年間の総額などを考慮して決定します。

研究成果発表での渡航の場合、根研究会事務局から会議の主催者にも連絡します。

支援を受けた方は、帰国後速やかに研究会誌の「報告」欄に会議の概要を投稿して頂きます。

また、発表課題が事前審査等により受理されなかった場合や都合により渡航できなくなった場合には、支援金全額を速やかに返済して頂きます。

申請書の記載内容(A4 1枚 程度)

(申請は、本人申請を原則とし、学生の場合は指導教員等の承認が必要)

1) 申請者の氏名、所属、生年月日

(学生の場合は指導教員等の所属・氏名・印鑑をもって指導教員等の承認とします):

2) 会議等の名称と開催期間・開催場所 または 研究・調査の期間・場所:

3) 発表課題名または研究課題名:

4) 渡航日程:

5) 申請額と支援金の使途:

6) 現在行っている主な研究の概要(400字程度)